

## VII-1 京浜臨海部の再編整備

京浜臨海部は、日本を代表する工業地帯として長らく神奈川及び日本の経済活動を牽引してきましたが、産業構造の転換に伴う企業の再構築や生産機能の県外及び海外への移転などにより産業活力が著しく低下してきています。

そうした中で、京浜臨海部では都市再生予定地域の設定、羽田空港の再拡張・国際化の決定、基幹的広域防災拠点の整備、ロボット、ゲノム・バイオ、新エネルギーなど科学技術を基盤とした新たな産業の創出など、京浜臨海部の再編整備を促進する環境の変化や新事業の具体的な動きが見えてきています。

そこで、京浜臨海部の再編整備をさらに着実に進めるため、地元企業や国、横浜市、川崎市などと連携し、環境や防災に配慮した新しい地域像、産業像に対応した土地利用と交通基盤整備の促進、既存産業の高度化、活性化と新たな産業の創出・集積を進めながら雇用の創出を図っていくことが求められています。

### ●京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出

国際臨空産業、ロボット関連産業、新エネルギー関連産業、先導的エコ産業\*<sup>1</sup>、ゲノム・バイオ関連産業など新たな産業の創出・集積を進めるとともに、規制緩和の促進、企業への助成などにより、企業活動の活性化を進め、雇用の創出を図ります。

### ●京浜臨海部における新しいまちづくり

羽田空港の再拡張・国際化を踏まえ、羽田空港へのアクセスなどに資する道路、鉄道などの交通基盤の整備や、遊休地などの土地利用転換などによる新たなまちづくり拠点の整備など産業集積を支える都市基盤の整備を促進します。

## 戦略プロジェクト

- 41 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出
- 42 京浜臨海部における新しいまちづくり

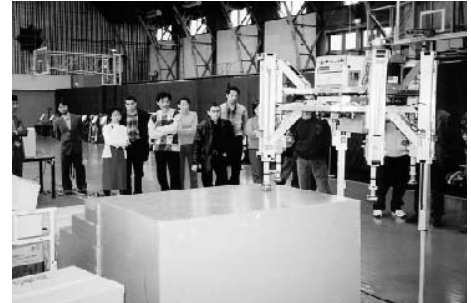
\*1 先導的エコ産業…持続可能な社会経済活動をめざし、素材の選択から製造、製品の使用やその後のリサイクルまで、すべての場面での環境負荷低減を考慮した資源循環型の産業

## 41 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出

(企画部)

### 〈現状と課題〉

- ・京浜臨海部地域の従業者数が5年間で9.9%減少しています。  
423,399人(1996年)→381,423人(2001年)
- ・京浜臨海部地域の事業所数が5年間で10.4%減少しています。  
35,901所(1996年)→32,173所(2001年)



川崎ラボラトリーにおける  
災害救助用ロボットのデモンストレーション

### 〈めざすがた〉

企業誘致や立地企業との連携・支援により既存産業の活発な活動が見られるとともに、環境・新エネルギー産業の集積やロボット、ゲノム・バイオなどの先端的研究開発に関連した新しい産業の創出・集積が図られ、産業が活性化しています。

### 〈目標〉

○京浜臨海部の従業者数\*1 (単年度※)

(単位：人)

実績(2001*)	現状(2003見込)	2004	2005	2006
381,423	—	—	—	450,000

\*5年に1回の調査のため、2001年10月1日時点の調査結果を実績とします。  
〔「事業所・企業統計調査(総務省)」より〕

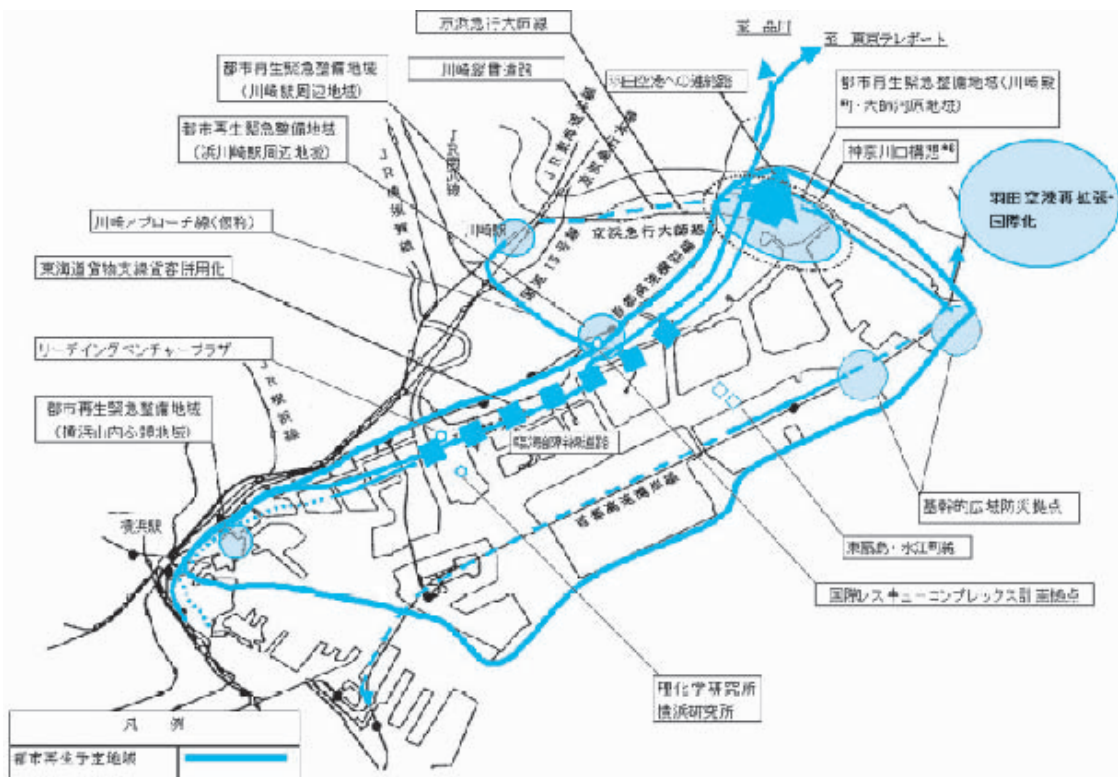
### 〈取り組む事業〉

産業活力の向上と雇用の創出のため、羽田空港の再拡張・国際化に対応した国際臨空産業、ロボット関連産業、新エネルギー関連産業、先導的エコ産業、ゲノム・バイオ関連産業などの新たな産業の創出や集積を進めます。また、規制緩和の要望や企業への助成などにより、企業活動の活性化を進めます。

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
1	羽田空港の再拡張・国際化に対応した新たな産業の集積 国際物流機能に対応した企業誘致やホテル、コンベンション、アミューズメントなどの交流拠点形成のための調査・検討を行い、国際臨空産業の集積やアジア起業家村構想*2とも連携した新たな交流拠点の形成を進めます。	国際物流機能の強化・高度化 (県・市・民間)		国際競争力強化支援	総合保税地域を活用した機能強化	高度化に対応した企業誘致	交流拠点形成への支援
		国際的な交流拠点の形成 (県・市・民間)		課題検討	導入機能の調査検討	事業具体化調査検討	民間事業者の誘致及び事業化支援
2	ロボット関連産業の創出・集積 レスキューを核とした、ロボットや情報システムの研究開発とその発信を行うIRC*3・世界の救助センターを設立するとともに、「ワールドロボットフェア(仮称)」の開催を検討するなどロボット関連産業の創出・集積を進めます。	IRC・世界の救助センターの設立(県・民間)		IRC具体化検討会実施	IRC推進準備会設立	センター設立準備	IRC・世界の救助センターの設立
		・研究開発課題情報の発信		データベース作成・発信	データベース充実強化・発信	データベース充実強化・発信	
		・ロボットレベル認証*4事業の実施		—	事業準備	事業開始	
		ロボット関連産業の創出・集積 ・逆見本市の開催(県) ・NPOなどとの協働・連携によるベンチャー起業支援(県・民間)		開催	開催	開催・充実強化	開催・充実強化
3	新エネルギーの活用促進 水素・メタンガスなどの利用や環境負荷の少ないDME自動車*5などのモデル事業を行い、民間による新エネルギーの普及拡大を図ります。	水素・メタンガスなどを利用したモデル事業の実施(県・民間)		実現可能性調査	モデル事業準備	モデル事業実施	民間による事業の普及
		DME自動車普及モデル事業の実施(県・民間)	箇所	実現可能性調査	1	2	4

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
4	先導的エコ産業の創出・集積 エコ産業創出協議会を拡充し、民間主導によるエコビジネスの創出や中古品の環境面も含めた付加価値を高めて再商品化を図る「リファーマービッシュ事業」、エコ商品普及のための「エコデザイン工房事業」に取り組みます。	民間主導によるエコビジネスの創出 (県・民間)		協議会による検討	協議会の拡充とビジネス創出	協議会によるビジネス創出	協議会によるビジネス創出
		リファーマービッシュ事業の推進 (県・民間)		実現可能性調査	準備のための実証事業	事業化	事業拡大
		デザインを活用したエコ商品の普及 (県・民間)		エコデザイン・モデル事業	エコデザイン工房設立	工房運営研究機関立地促進	工房運営 エコ製品の発信
5	ゲノム・バイオ関連産業の活性化促進 理化学研究所などの研究機関と連携し、その研究成果などの産業への移転及び関連企業の集積を促進します。	理化学研究所などと県試験研究機関の連携 (国・県)		共同研究、連携課題の検討	共同研究	共同研究	共同研究
		研究成果などの産業への移転及び関連企業の集積 (県・民間)		技術移転連携方策の検討	技術移転連携方策の確立	技術移転の連携	技術移転の連携
		科学技術アカデミーなどにおける企業家人材の育成 (県)		育成	育成	育成	育成
6	企業活動の活性化促進 国への規制緩和の要望、企業の立地計画への助成や受発注につながる取組みなど既存企業の活性化と企業誘致を進めます。	既存企業の活性化と企業誘致 (県)		支援・連携	支援・連携	支援・連携	支援・連携

〈京浜臨海部の主要事業図〉



- \*1 京浜臨海部の従業者数…京浜3区（横浜市鶴見区、神奈川区、川崎市川崎区）の従業者数
- \*2 アジア起業家村構想…インフラ整備や優遇策などにより、アジアからベンチャー人材を誘致し、起業と国際的な交流を促進することにより、産業空洞化対策や地域経済、日本経済の活性化に貢献しようとする構想
- \*3 IRC…国際レスキューコンプレックスの略。優れた研究開発機関を核として、レスキューロボットやレスキューシステムに関する製品開発や技術的解決策を発信することや関連産業の集積を図るレスキューに関する国際的な複合拠点
- \*4 ロボットレベル認証…ロボットの機能に対する標準的な評価方法を確立し、その評価に基づき、ロボットの機能水準を認証すること
- \*5 DME自動車…ジメテルエーテル自動車。既存のディーゼルエンジン本体は改造せずに、多少のユニットを装着することでも走行でき、窒素酸化物や粒子状物質を大幅に減らすことができます。
- \*6 神奈川構想…羽田空港の再拡張・国際化を契機として、空港関連施設などを東京側と神奈川側で分担するとともに、多摩川を渡る連絡道路などを整備し、神奈川側と羽田空港の一体的なまちづくりを進めようとする構想

## 42 京浜臨海部における新しいまちづくり (企画部)

### 〈現状と課題〉

- ・京浜臨海部の道路網は、域内の連絡や骨格となる道路が不足し、産業道路への依存が高くなっています。
- ・京浜臨海部における鉄道不便地域の解消が必要となっています。
- ・産業構造の転換や工場の海外移転などに伴い遊休地などが増加しています。



京浜臨海部

### 〈めざすすがた〉

京浜臨海部において、既存産業の高度化や新しい産業の創出・集積を支える都市基盤が整えられるとともに、羽田空港の国際化により、世界と人・もの・情報が交流する国際的なまちづくりが進んでいます。

### 〈目標〉

川崎縦貫道路や臨海部幹線道路、羽田空港への連絡路などの道路網の整備、東海道貨物支線の貨客併用化などの鉄道網の整備、都市再生緊急整備地域などの拠点整備により、産業を支える新しいまちづくりをめざします。

### 〈取り組む事業〉

羽田空港の再拡張・国際化を踏まえ、羽田空港へのアクセスに資する道路や東海道貨物支線の貨客併用化などの鉄道の整備を促進するとともに、川崎縦貫道路や横浜環状北線を通じた広域的な連携に取り組みます。

また、遊休地などの土地利用転換などによる新たなまちづくり拠点の整備を促進します。

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
1	道路網の整備促進 羽田空港へのアクセスに資する道路や渋滞解消を図るための道路網の整備を促進します。	臨海部幹線道路などの整備促進 (県・市)		基本計画	概略設計	都市計画準備調査など	都市計画決定など
		羽田空港への連絡路の整備促進 (国・県・市)		ルート検討	事業主体などの検討	構造物の予備設計	都市計画決定など
		川崎縦貫道路 (I期) の整備 (国・首都高速道路公団・県・市)		整備	整備	整備	供用
2	鉄道網の整備促進 鉄道不便地域の解消と生活の利便性向上を図るため、鉄道網の整備を促進します。	東海道貨物支線の貨客併用化の促進 (県・市)		整備効果など検討	需要拡大方策検討	整備手順・事業手法などの検討	整備手順・事業手法などの検討
		川崎アプローチ線 (仮称) の整備促進 (県・市)		ルートなどの概略検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討
		京急大師線の整備促進 (県・市・民間)		整備	整備	整備	整備
3	新たなまちづくり拠点の整備促進 都市再生緊急整備地域や基幹的広域防災拠点などの整備を促進します。	都市再生緊急整備地域などの整備促進 (県・市・民間) ・川崎殿町・大師河原地域 ・浜川崎駅周辺地域		整備計画策定	整備計画策定	事業計画策定	実施設計
		南渡田北地区 小田栄・南渡田南地区		既存施設の用途変更 整備計画策定	既存施設の再整備 事業計画策定	既存施設の再整備 実施設計	既存施設の再整備 基盤整備着手
		基幹的広域防災拠点の整備 (国・市)		基本設計	詳細設計整備	整備	整備
4	羽田空港の再拡張・国際化の推進 国や関係都県市と連携し、羽田空港の再拡張・国際化を進めます。	国や関係都県市との連携による再拡張・国際化の推進 (国・県・市)		再拡張・国際化の推進	再拡張・国際化の推進	再拡張・国際化の推進	再拡張・国際化の推進